

第2節 調査の結果

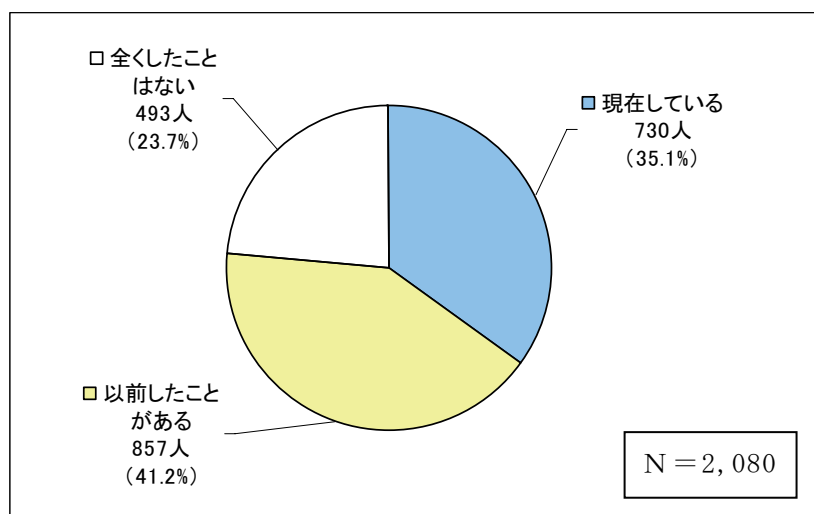
1 ボランティア活動の実施状況

ボランティア活動を現在行っている人（「2 ボランティア活動の分野」について、ひとつでも「現在している」と回答した人）が 35.1%（730 人）となっている。

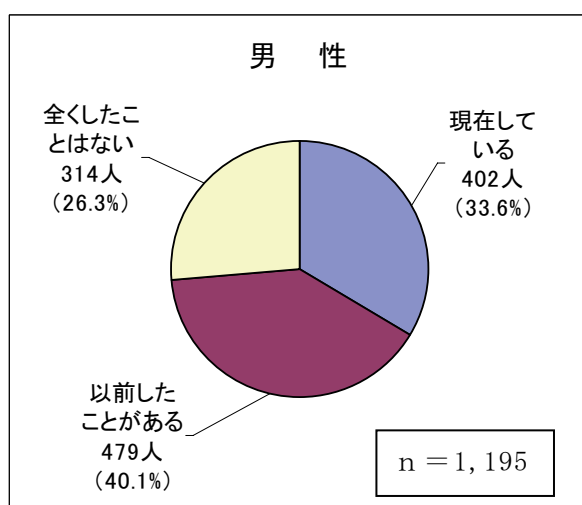
また、同設問について「現在している」に回答がなく、「現在はしていないが、以前したことがある」「全くしたことはない」と回答した人は 41.2%（857 人）、全ての選択肢に対して「全くしたことはない」と回答した人は 23.7%（493 人）となっている。【図 2-3】

また、性別で見ると、「現在している」と答えた男性は 33.6%（402 人）、女性は 37.1%（328 人）、「現在はしていないが、以前したことがある」と答えた男性は 40.1%（479 人）、女性は 42.7%（378 人）となっており、ともに女性が男性を上回る結果となった。

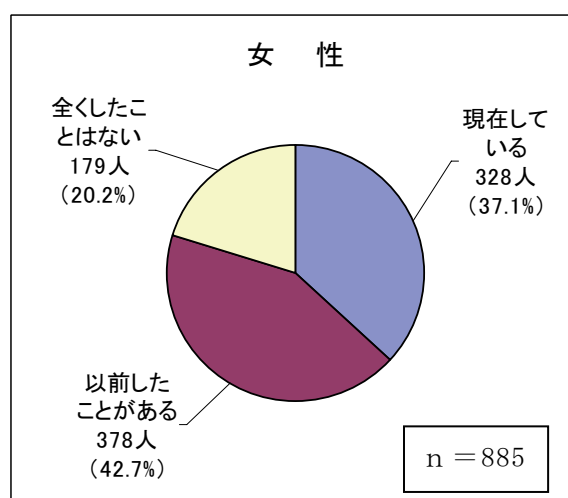
【図 2-4-1、図 2-4-2】



【図 2-3 ボランティア活動の有無（全体）】



【図 2-4-1 ボランティア活動の有無（男性）】



【図 2-4-2 ボランティア活動の有無（女性）】

2 ボランティア活動の分野

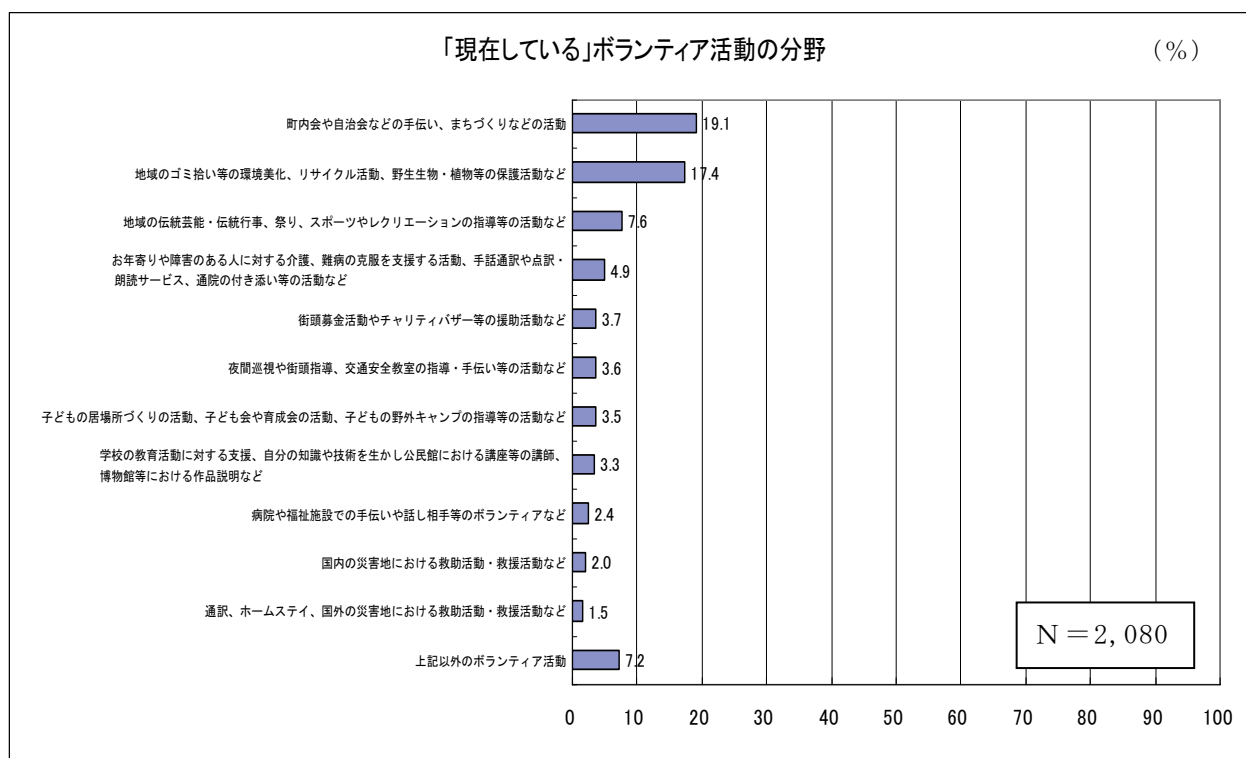
ボランティア活動の分野ごとに、「現在している」、「現在はしていないが、以前したことがある」、「全くしたことはない」を調べた。

「現在している」ボランティア活動の分野の結果を見ると、『町内会や自治会などの手伝い～』（19.1%）、『地域のゴミ拾い等の環境美化～』（17.4%）で高い割合が見られた。【図 2-5-1】

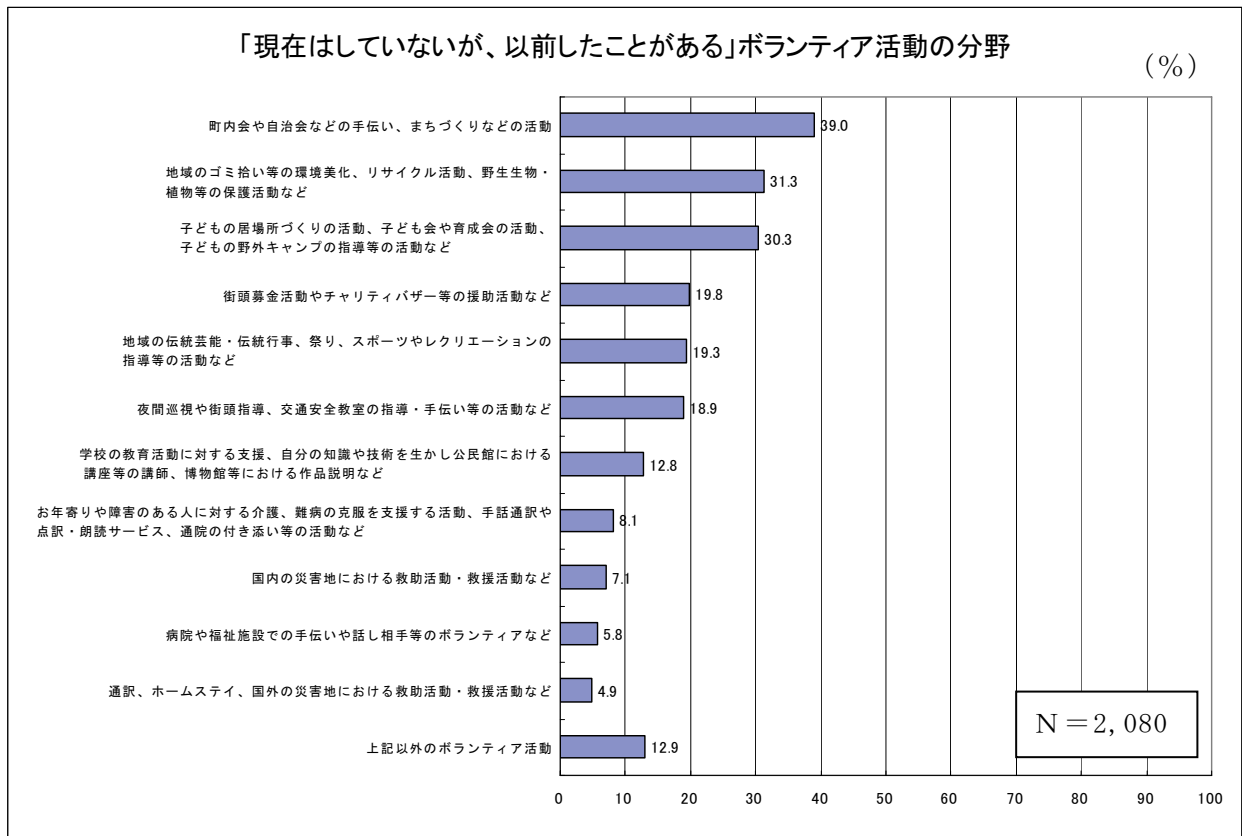
「現在はしていないが、以前したことがある」と回答した人は、『町内会や自治会などの手伝い～』（39.0%）、『地域のゴミ拾い等の環境美化～』（31.3%）が高い割合で見られ、次いで『子どもの居場所づくりの活動～』（30.3%）と続いている。【図 2-5-2】

「全くしたことはない」と回答とした人のボランティア活動の分野を見ると、『通訳、ホームステイ、～』（93.6%）、が最も多く、次いで『病院や福祉施設での手伝い～』（91.8%）、『国内の災害地における救助活動～』（90.9%）、『お年寄りや障害のある人に対する介護』（87.0%）、『学校の教育活動に対する支援～』（83.8%）で高い割合が見られた。これらの活動分野で実施状況の低さが伺われる。【図 2-5-3】

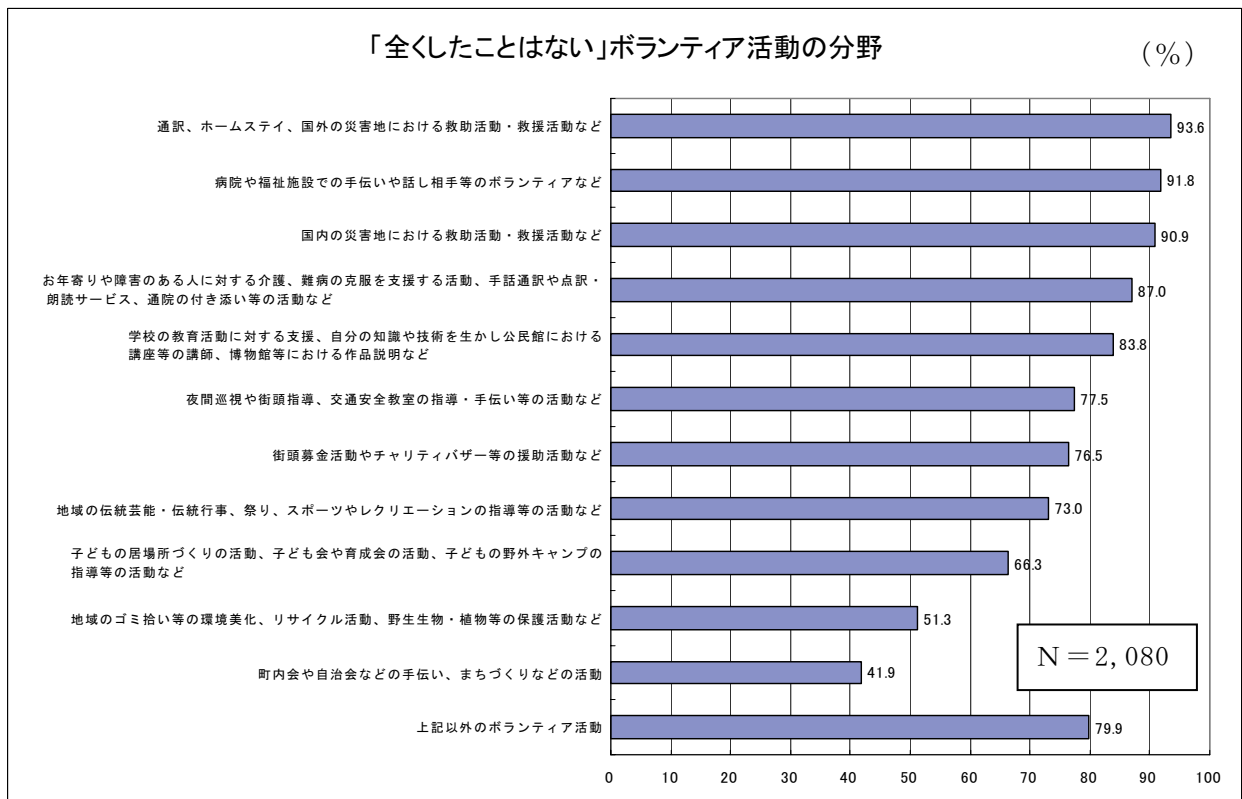
なお、「Q 1 で例示されているボランティア活動以外にしたことがあるボランティア活動」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。



【図 2-5-1 ボランティア活動の分野（現在している）】



【図 2-5-2 ボランティア活動の分野（現在はしていないが、以前したことがある）】



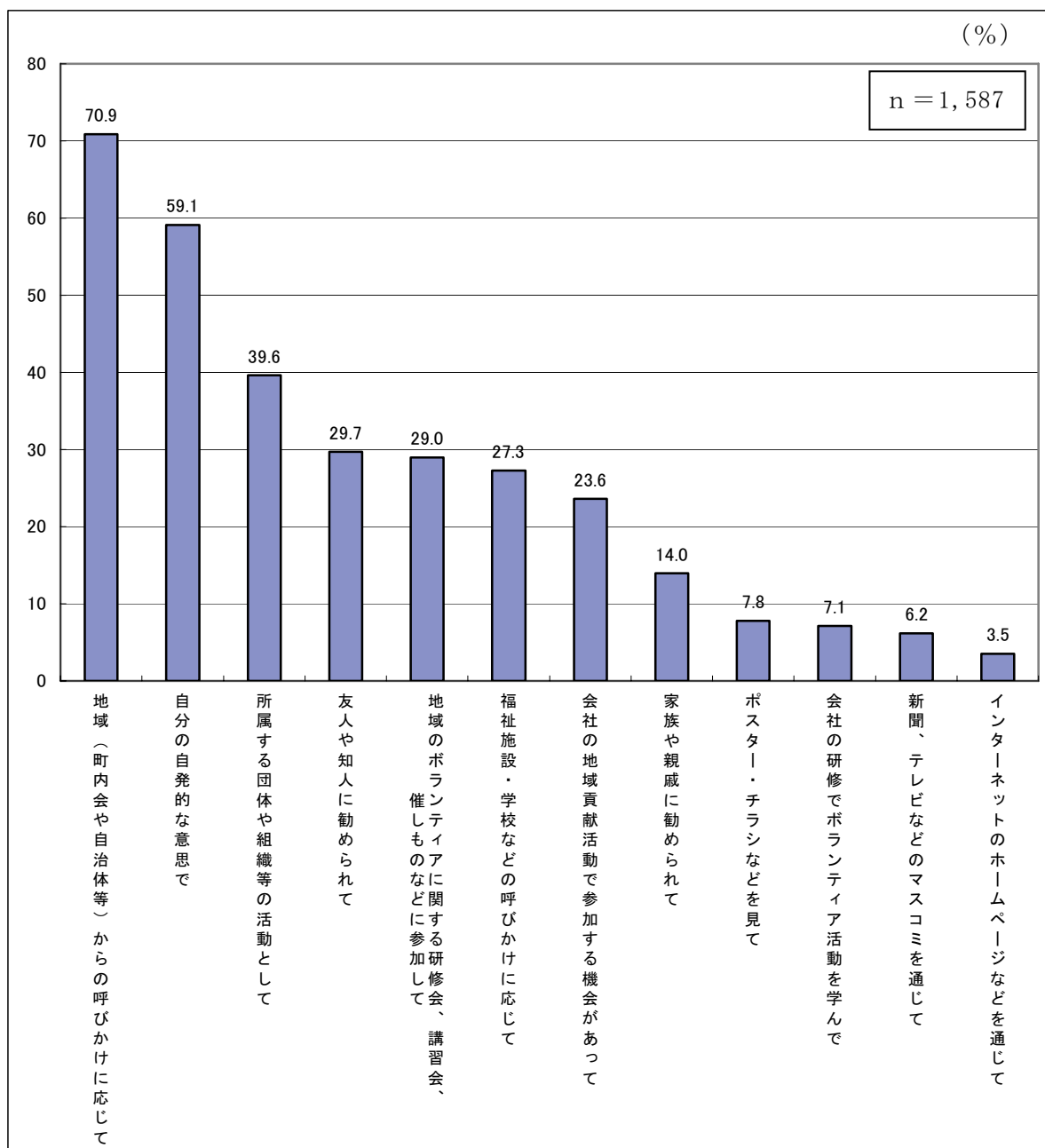
【図 2-5-3 ボランティア活動の分野（全くしたことはない）】

3 ボランティア活動のきっかけについて

ボランティア活動について、ひとつでも「現在している」、「現在はしていないが、以前したことがある」と回答した人（n=1,587）に、ボランティア活動のきっかけを聞いてみると、『地域（町内会や自治会等）からの呼びかけなどに応じて』（70.9%）、『自分の自発的な意思で』（59.1%）が高い割合となった。次いで、『所属する団体や組織等の活動として』（39.8%）となっている。

一方、低い割合となったのは、『会社の研修でボランティア活動を学んで』（7.1%）、『新聞、テレビなどのマスコミを通じて』（6.2%）、『インターネットのホームページなどを通じて』（3.5%）であった。【図 2-6】

なお、「Q 3で例示されているきっかけ以外にボランティア活動をはじめたきっかけ」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。



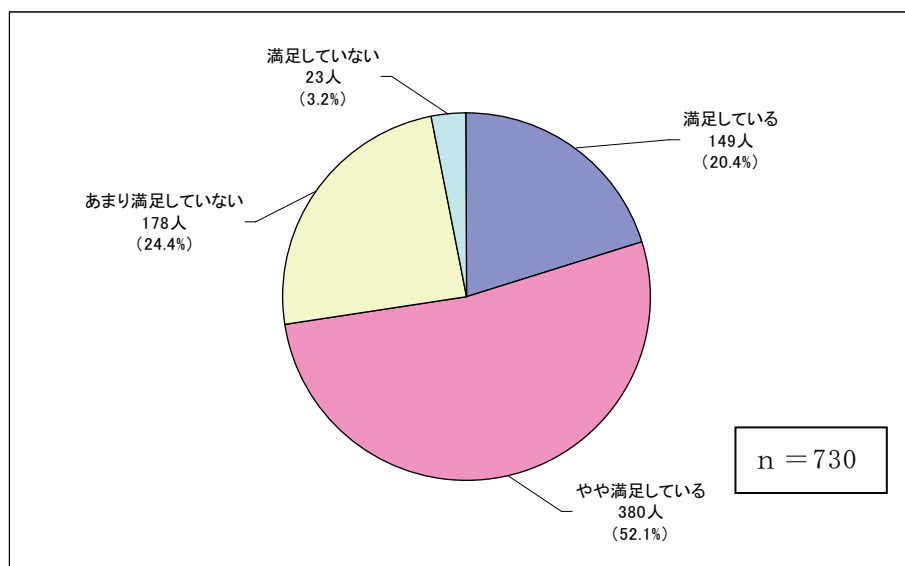
【図 2-6 ボランティア活動のきっかけ】

4 ボランティア活動の満足度

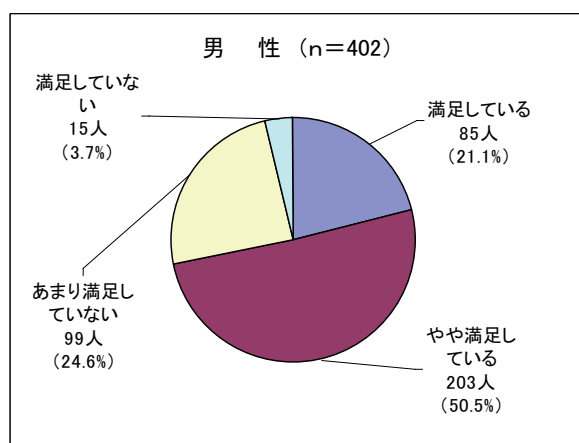
ボランティア活動について、ひとつでも「現在している」と回答した人（ $n = 730$ ）のボランティア活動の満足度を聞いてみると、『満足している』（20.4%）、『やや満足している』（52.1%）を合わせると、満足している人が72.5%と高い結果が出た。【図 2-7】

また、性別での結果を見てみると、男性の満足している割合（71.6%）より女性の満足している割合（73.5%）が若干上回っているものの、その差はわずかであった。

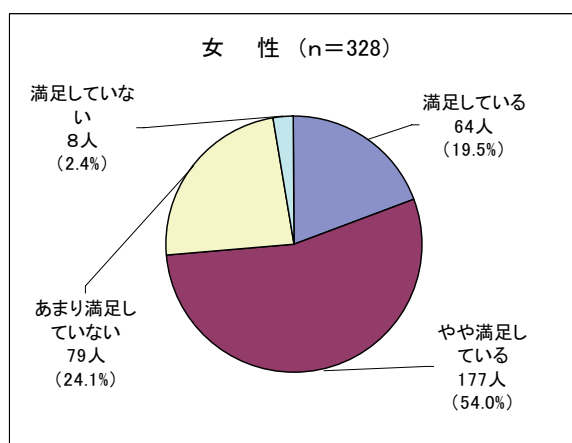
【図 2-7-1、図 2-7-2】



【図 2-7 ボランティア活動の満足度（全体）】



【図 2-8-1 ボランティア活動の満足度（男性）】

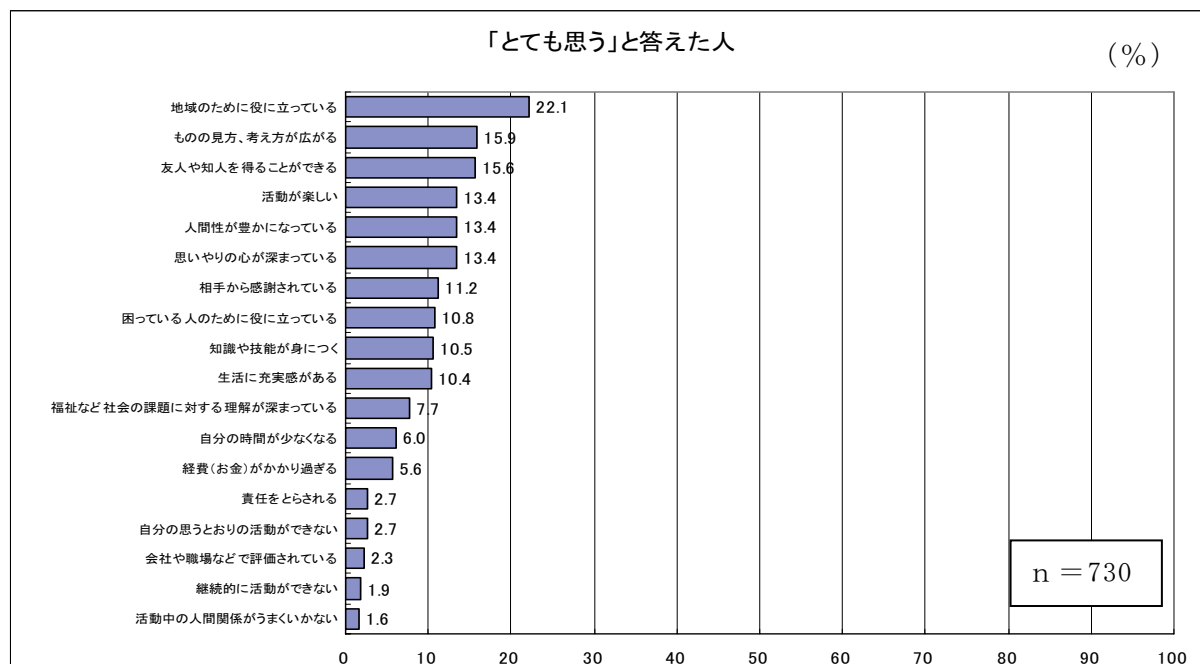


【図 2-8-2 ボランティア活動の満足度（女性）】

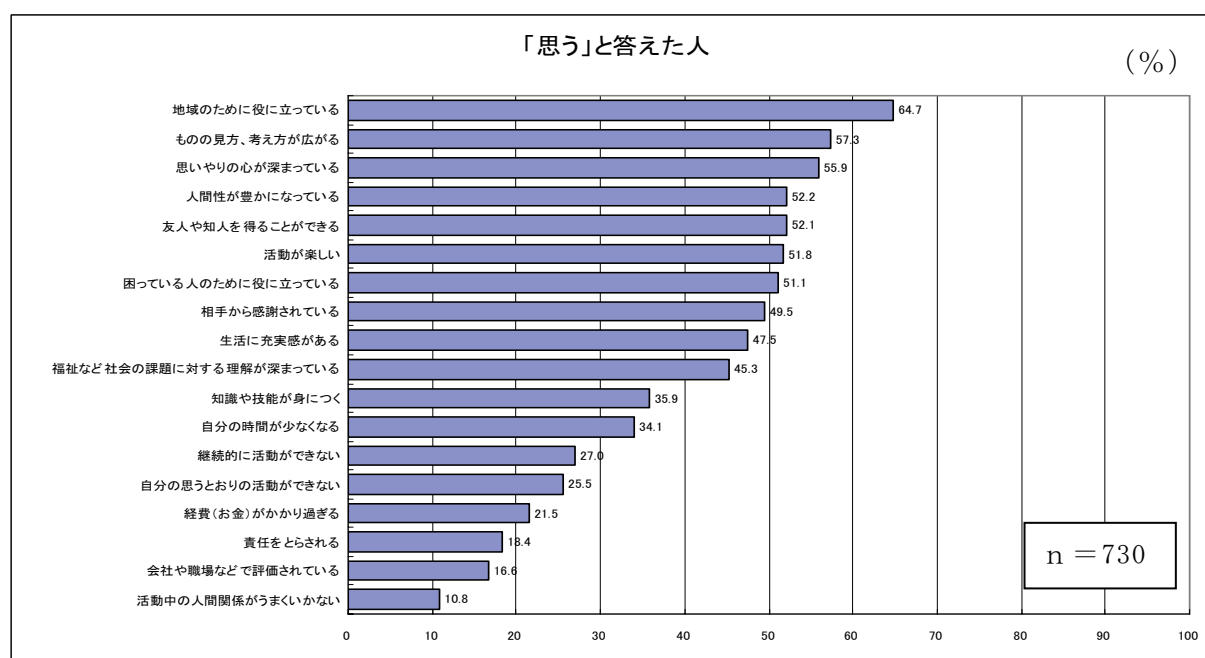
5 ボランティア活動の意識について

ボランティア活動について、ひとつでも「現在している」と回答した人（n = 730）のボランティア活動の意識について聞いてみると、『地域のために役立っている』、『ものの見方、考え方が広がる』、『思いやりの心が深まっている』、『友人や知人を得ることができる』で「とても思う」「思う」と回答した人が多く、ボランティア活動の意識は肯定的な傾向にある。

一方、「活動中の人間関係がうまくいかない」や「継続的に活動ができない」など、ボランティア活動に対する否定的な回答の割合は低い傾向が見られた。【図 2-9-1、図 2-9-2】



【図 2-9-1 ボランティア活動の意識（とても思う）】



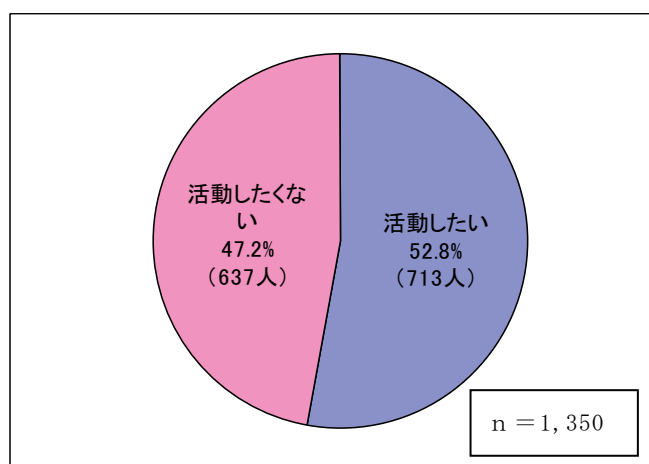
【図 2-9-2 ボランティア活動の意識（思う）】

6 ボランティア活動の意向について

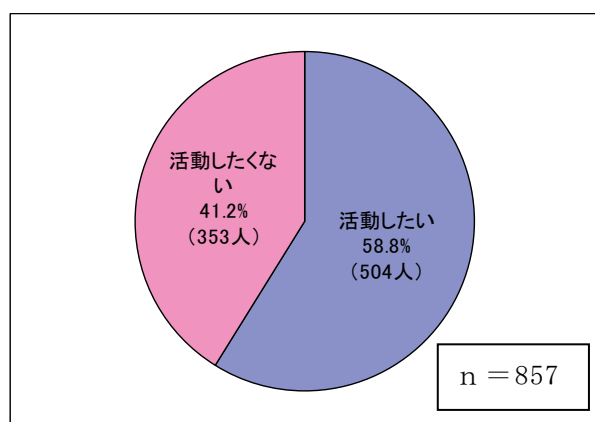
ボランティア活動について、ひとつでも「現在はしていないが、以前したことがある」「全くしたことがない」と答えた人（ $n=1,350$ ）に、ボランティア活動の意向について聞いてみると、『活動したい』と考えている人が52.8%（713人）であり、『活動したくない』と考えている人の47.2%（637人）を5.6ポイント上回っている。

【図 2-10】

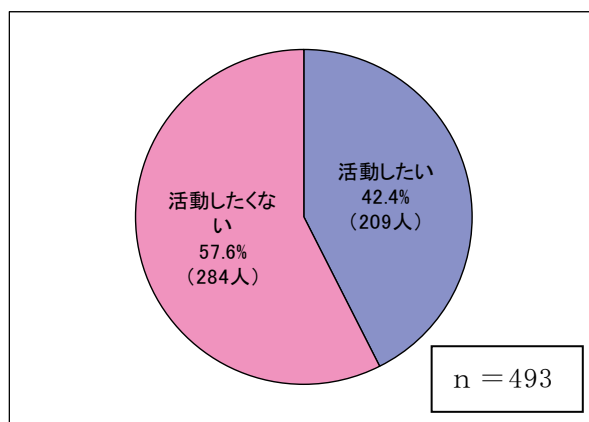
また、「現在はしていないが、以前したことがある」と「全くしたことはない」の回答別でボランティア活動の意向を見てみると、「現在はしていないが、以前したことがある」と回答した人が『活動したい』と考えている割合は58.5%（504人）であり、「全くしたことはない」と回答した人の『活動したい』と考えている割合（42.4%）を大きく上回る結果となった。【図 3-11-1、図 3-11-2】



【図 2-10 ボランティア活動の意向（全体）】



【図 2-11-1 ボランティア活動の意向（現在はしていないが、以前したことがあると答えた人）】



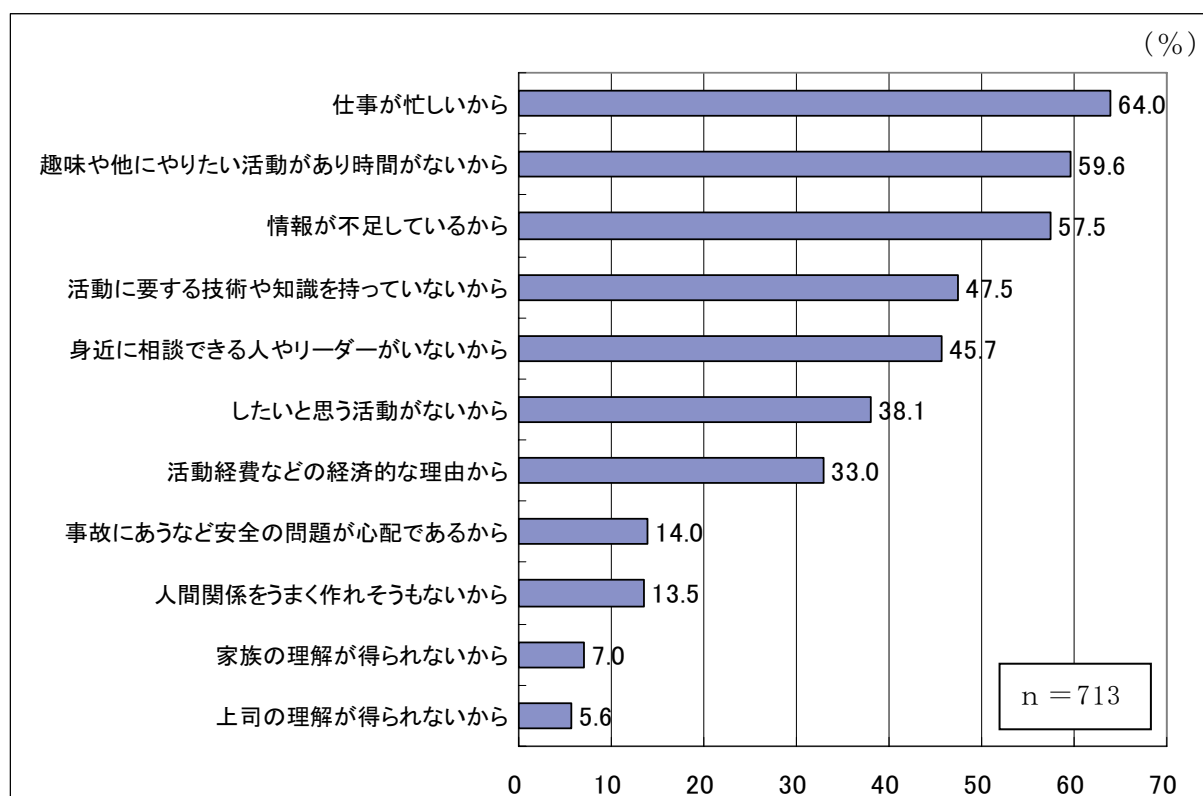
【図 2-11-2 ボランティア活動の意向（全くしたことはないと答えた人）】

7 ボランティア活動に参加できない理由について（Q7で「活動したい」と答えた人）

Q7でボランティア活動の意向について「活動したい」と回答した人（n=713）の、ボランティア活動に参加できない理由を聞いてみると、『仕事が忙しいから』（64.0%）が最も多く、次いで『趣味や他にやりたい活動があり時間がないから』（59.6%）、『情報が不足しているから』（57.5%）となっている。

また、『活動に要する技術や知識を持っていないから』（47.5%）、『身近に相談できる人やリーダーがいないから』（45.7%）も4割を超える割合となっている。【図 2-12】

なお、「Q8で例示されている理由以外に、ボランティア活動をしたくても、できない・しない理由」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。

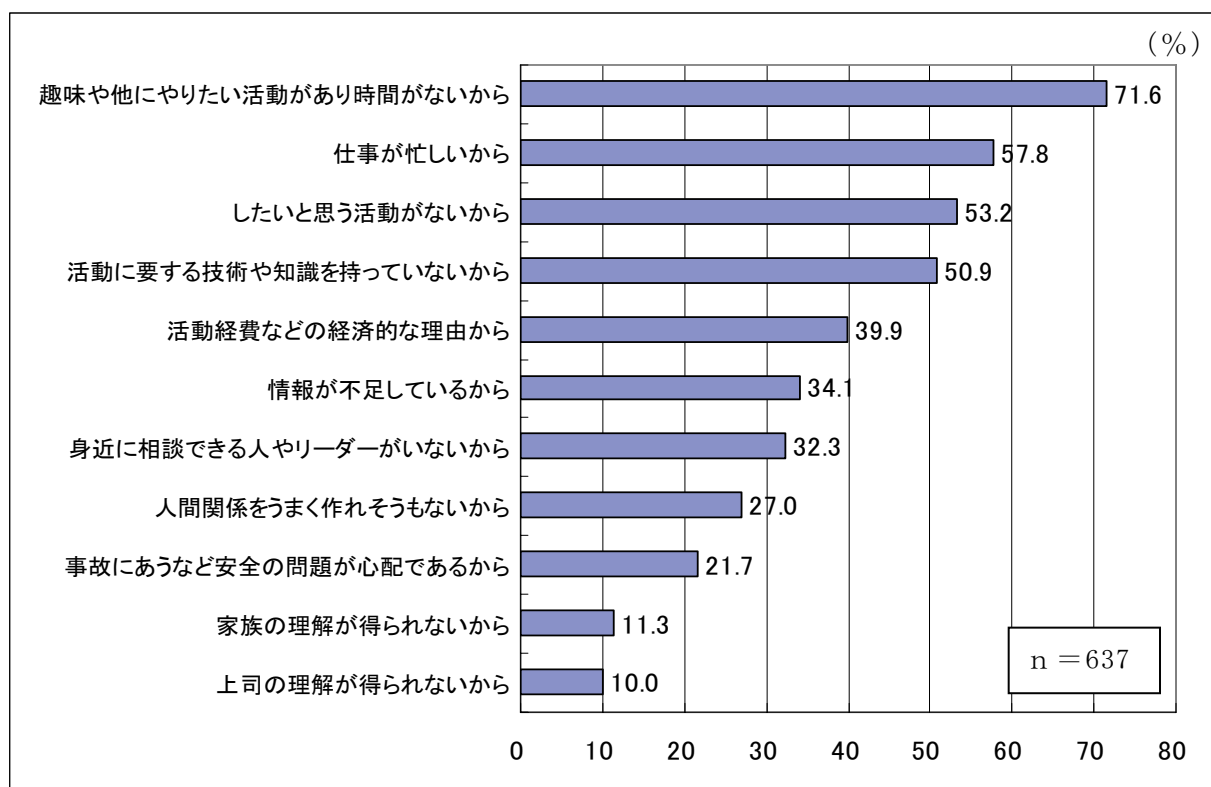


【図 2-12 Q7で「活動したい」と回答した人のボランティア活動に参加できない理由】

8 ボランティア活動に参加できない理由について（Q7で「活動したくない」と答えた人）

Q7でボランティア活動の意向について「活動したくない」と回答した人（n=637）の、ボランティア活動に参加できない理由を聞いてみると、『趣味や他にやりたい活動があり時間がないから』（71.6%）が最も多く、次いで『仕事が忙しいから』（57.8%）、『したいと思う活動がないから』（53.2%）、『活動に要する技術や知識を持っていないから』（50.9%）となっている。『活動経費などの経済的な理由から』と回答した人は約4割になっている。【図2-13】

なお、「Q10で例示されている理由以外に、ボランティア活動をしたくない理由」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。



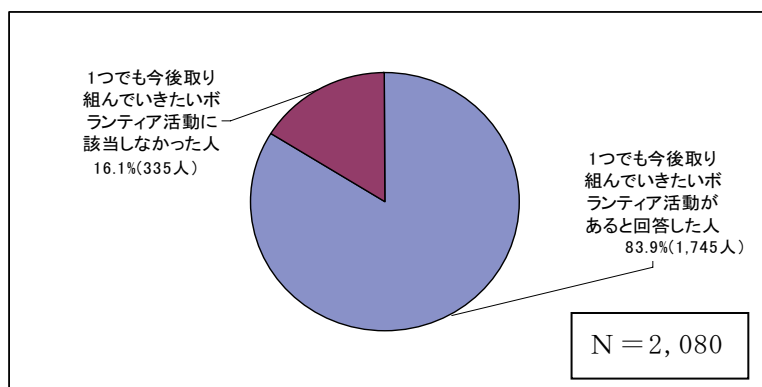
【図2-13 Q7で「活動したくない」と回答した人のボランティア活動に参加できない理由】

9 今後のボランティア活動への参加に対する意向の有無について

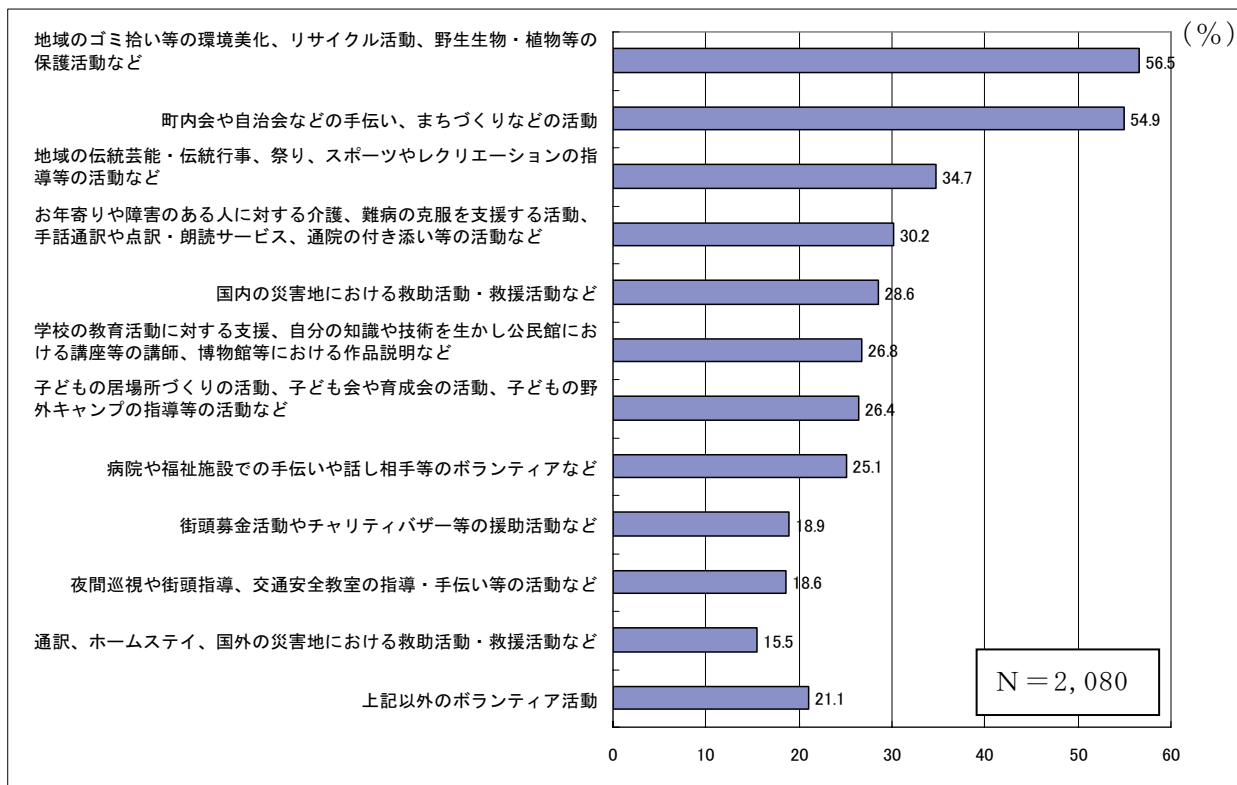
今後のボランティア活動への参加に対する意向について聞いてみると、ひとつでも「今後取り組んでいきたいボランティア活動がある」と回答した人は83.9%(1,745人)、ひとつも該当しなかった人は16.1%(335人)となっている。[図2-14]

今後のボランティア活動の意向の分野について聞いてみると、『地域のゴミ拾い』等の環境問題が56.5%と最も多く、次いで『町内会や自治会などの手伝い』(54.9%)、『地域の伝統芸能・伝統行事』(34.7%)等の地域活動への参画、『お年寄りや障害のある人に対する介護』(30.2%)等の介護福祉が続いている。[図2-15]

なお、「Q12 で例示されているボランティア活動以外に、今後取り組んでいきたいボランティア活動」に回答した記述及び「Q12の今後取り組んでいきたいボランティア活動の全てに該当しなかった人の理由」の記述については、巻末「資料」に掲載した。



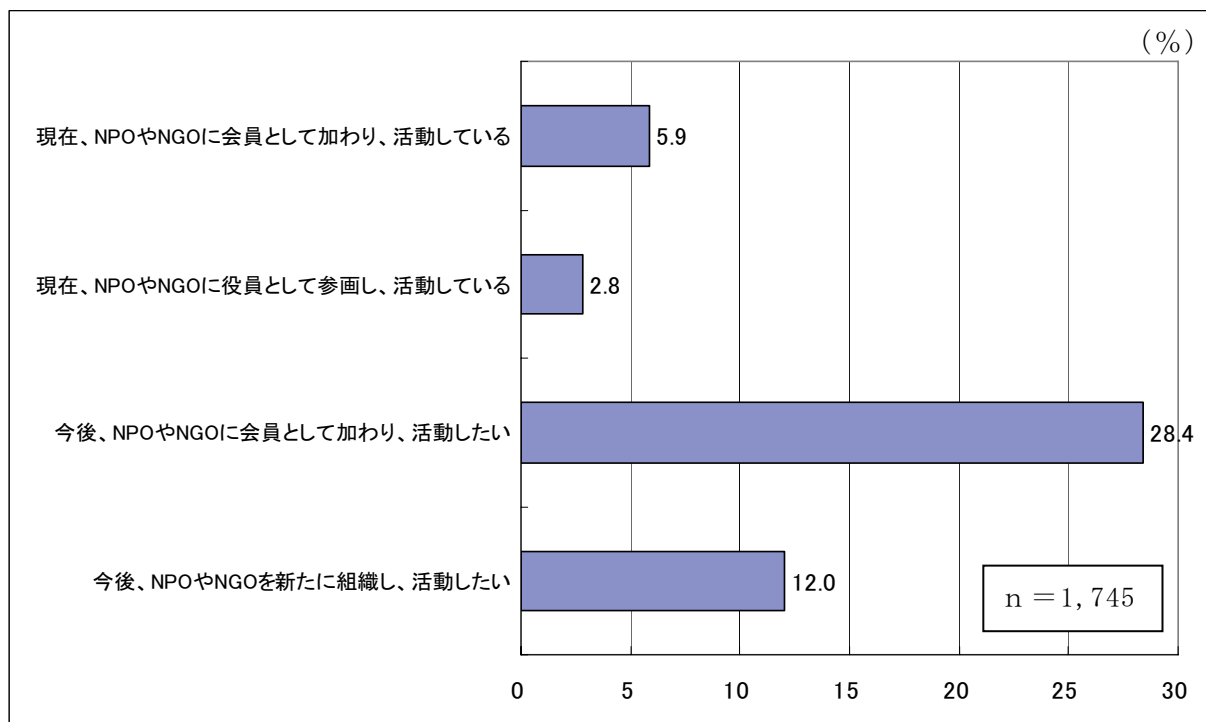
【図2-14 今後のボランティア活動の意向の有無】



【図2-15 今後のボランティア活動の意向の有無】

10 NPO・NGOへの参加の意向について（Q12で「今後（退職後）取り組んでいきたいボランティア活動がある」と回答した人）

「今後（退職後）取り組んでいきたいボランティア活動がある」と回答した人（ $n = 1,745$ ）に、「NPO・NGOへの参加の意向」を聞いてみると、『今後、NPOやNGOに会員として加わり、活動したい』という意向をもつ人が28.4%（495人）と約3割の人が参加意向を示した。【図 2-16】

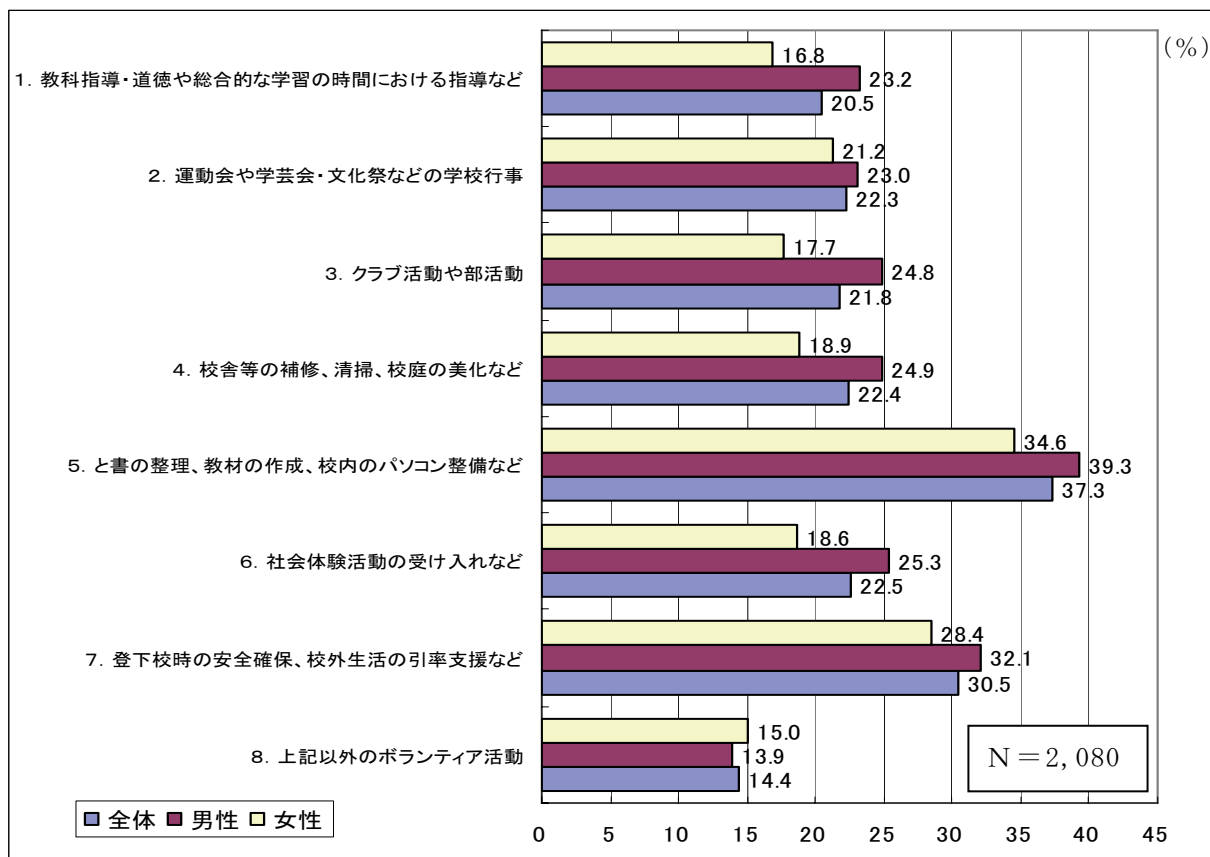


【図 2-16 NPO・NGOへの参加の意向】

11 学校支援ボランティア等に対する活動の意向について

学校支援ボランティア等に対する活動の意向を聞いてみると、『図書の整理、教材の作成、校内のパソコン整備など』(37.3%)が最も多く、次いで『登下校時の安全確保、校外生活の引率支援など』(30.5%)となっている。また、いずれの活動についても2割を超える割合となっている。[図 2-17]

なお、「Q16 で例示されているボランティア活動以外に参加したい子どもの学校生活を支援するボランティア活動」に回答した記述については、巻末「資料」に掲載した。

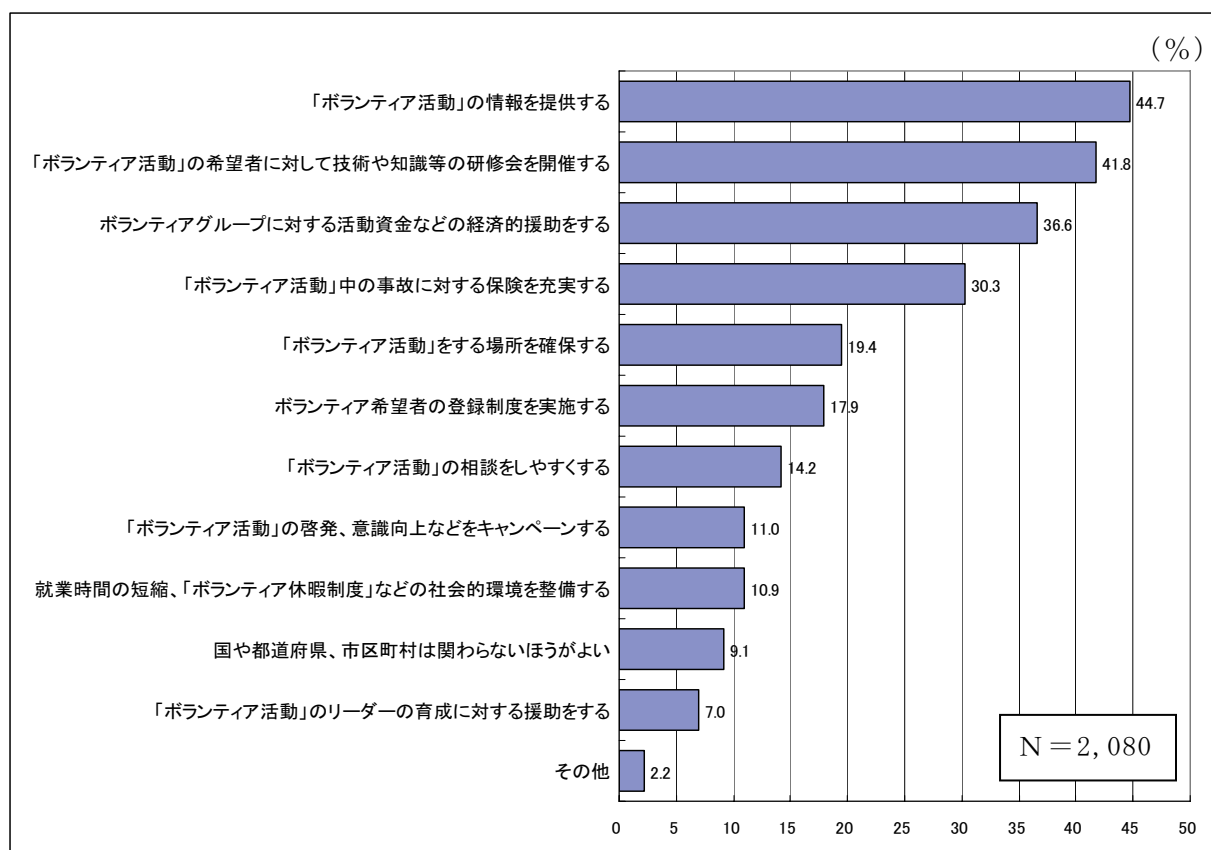


【図 2-17 学校支援ボランティアに対する活動の意向】

12 ボランティア活動への行政の支援に対する要望について

ボランティア活動への行政の支援に対する要望について聞いてみると、『ボランティア活動の情報を提供する』（44.7%）が最も多く、次いで『ボランティア活動の希望者に対して技術や知識等の研修会を開催する』（41.8%）となっている。【図 2-18】

また、『ボランティアグループに対する活動資金などの経済的援助をする』（36.6%）、『ボランティア活動中の事故に対する保険を充実する』（30.3%）も3割を超える割合となっている。【図 2-18】



【図 2-18 ボランティア活動への行政の支援に対する要望】